

第 2 回 館山市議会定例会会議録  
(第 4 号)



1 昭和60年6月28日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 神田 守隆  
3 番 山中金治郎  
5 番 川名 正二  
7 番 榎本 春光  
9 番 福原 勤  
11 番 飯田 義男  
13 番 石井 昌治  
15 番 渡辺 昭夫  
17 番 近藤 好雄  
20 番 石井 武敏  
22 番 林 豊  
24 番 流山源次郎  
26 番 石井 正  
28 番 安澤 徳順

2 番 田沢 勝信  
4 番 日下 君敏  
6 番 生稻 陞  
8 番 小宮 利夫  
10 番 横溝 功  
12 番 石井 謀  
14 番 伊藤幸太郎  
16 番 松下 正己  
19 番 黒川 平治  
21 番 吉田勇治郎  
23 番 伊賀 多朗  
25 番 五十嵐 昇  
27 番 安西 益男

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長 半澤 良一  
収 入 役 山田 俊康  
総務 部長 川畑喜代志  
経済 部長 吉岡 政雄  
教育委員会 長 杉村 芳枝  
教 育 委 員 会 長  
選挙管理委員会 長  
監 査 委 員 会 長  
農業委員会 会長  
加藤 利  
鈴木 重司  
斎藤 明

助 役 小倉 澄男  
市長公室長 斉藤 武男  
民生 部長 鈴木 力  
水道 課長 石井 敏夫  
教育委員会 長 福原 修  
教 育 委 員 会 長  
選挙管理委員会 長  
事務局書記 長  
監査事務局 長  
農業委員会 会長  
農 事 務 局 長  
佐藤 輝雄  
橋本 巖利  
池田 六郎

1 出席事務局職員

第1号に同じ

1 議事日程(第4号)

昭和60年6月28日午前10時開議

- |       |   |           |                                              |
|-------|---|-----------|----------------------------------------------|
| 日程第 1 | { | 議案第 2 7 号 | 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する<br>条例の制定について            |
|       |   | 議案第 2 8 号 | 工事請負契約の締結について                                |
|       |   | 議案第 2 9 号 | 工事請負契約の締結について                                |
| 日程第 2 | { | 議案第 3 0 号 | 館山市教育センター条例の制定について                           |
|       |   | 議案第 3 1 号 | 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の<br>一部を改正する条例の制定について     |
|       |   | 議案第 3 2 号 | 館山市と畜場の設置及び管理に関する条例を<br>廃止する条例の制定について        |
|       |   | 議案第 3 3 号 | 館山市と畜場施設近代化基金の設置及び管理<br>に関する条例を廃止する条例の制定について |
| 日程第 3 |   | 請願第 5 号   | 「非核平和都市宣言」の決議を求める請願書                         |
| 日程第 4 |   | 請願第 2 号   | 農産物の輸入自由化・枠拡大に反対し、国民<br>食糧の安定確保を求める請願書       |

開 議 午後 1 時 5 8 分

◎議長（石井 正君） 本日の出席議員数 2 7 名、これより第 2 回市議会  
定例会第 4 日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

#### 市長の発言

◎議長（石井 正君） この際、申し上げます。

市長から発言を求められておりますので、これを許します。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 本日付の某新聞に報道されました元市職員の事件  
につきまして御説明と釈明をいたします。

事件の経過につきましては、全員協議会におきまして詳しく御説明した  
とおりでございますが、コミュニティセンター敷地につきましては、市の  
依頼により昭和 5 4 年ごろから市開発公社が買収しておりましたが、本件  
土地付近は市内のある企業と市公社の双方が買収に入っていたものでござ

いまして、市公社は昭和56年11月にこの土地を取得し、買収代金を支払い、所有権移転も完了しておりました。

昭和59年8月末に市公社が買収しておりました土地の全体の確保の見通しができましたので、市公社の土地と民間企業の土地とが相互に入り組んでおりまして、双方とも効率的な土地利用ができない状況にありましたので、この境界について直線にすべく土地交換を民間企業と話し合いに入ったところ、本件土地については民間企業におきましてすでに買収してあることを聞きました。

当時の担当者である元職員を問いただしましたところ、その事実を認め、市公社が支払った買収代金については自分が着服していたことが判明したものでございます。

したがいまして、本人もその非を認め、その損害を補てんするとともに、その責任をとって退職する旨申し出がございましたので、退職を承認したものでございます。

なお、本人の処分については、本人の在職中の仕事ぶり、その将来、家庭状況等を総合的に判断し、告発をいたしませんでした。

本件に関する関係者の処分並びにこうした事件の再発を防ぐための方策については、従来もある程度の対策はしてまいりましたが、本日の全員協議会におきまして議員の皆さま方から承りました御意見を参考にいたしまして、しかるべき処置及び対策を早急にとる決意でございますので、御了承賜りたいと存じます。

このような不祥事を起こしましたことにつきましては、その責任を痛感し、深くお詫び申し上げ、説明並びに釈明といたします。

### 動 議

(「議長、1番、動議」と呼ぶ者あり)

◎1番(神田守隆君) この際、動議を提出いたします。

ただいまの市長の発言は大変重大な問題だろうと思います。緊急質問をしたいので同意の上、日程に追加し、発言を許可されるよう求めます。

(「賛成」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井 正君) ただいま神田守隆君から緊急質問に同意の上、こ

の際日程に追加し、発言を許されたいと動議が提出され、所定の賛成者が  
ありますので、動議が成立いたしました。よって、本動議を議題といたし  
ます。

お諮りいたします。本動議のとおり決することに賛成の諸君の起立を求  
めます。

(賛成者起立)

○議長(石井 正君) 起立少数であります。よって、ただいまの動議は  
否決されました。

#### 議案の上程

○議長(石井 正君) 日程第1、議案第27号乃至議案第29号を一括  
して議題といたします。

#### 総務委員会委員長報告

○議長(石井 正君) ただいま議題となりました各議案は、ともに6月  
25日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに  
結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長横溝 功君。御登壇願います。

(総務委員会委員長横溝 功君登壇)

○総務委員会委員長(横溝 功君) 去る6月25日開会の本会議におき  
まして総務委員会に付託されました議案第27号乃至議案第29号につ  
きましては、翌26日総務委員会を開催し、慎重なる審査をいたしました  
ところ、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以下、審査の経過について概要を御報告申し上げます。

議案第27号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について  
であります。まず退職者医療制度の国保に及ぼす影響と国庫支出金につ  
いていたしましたところ、退職者医療制度については退職者本人が医者  
にかかった場合、医療費から一部負担金と保険税を除いた残りの医療費が  
被用者保険から支払われるので、国保からの支出はない、また、退職者  
医療制度の創設に伴い、国庫支出金が総医療費の40%から30.8%に減額

されているとの答弁がありました。

次に、議案第28号工事請負契約の締結についてであります。まず地元業者でよいと思うがどうかとたどしましたところ、かつてコミュニティセンター造成工事が地盤が悪く苦勞した経緯がある、また2名以上の1級土木施行管理技士が常駐しなければならないという条件があり、本市には該当する業者がなかった旨の答弁がありました。

次いで、指名業者を尋ねましたところ、日本国土開発株式会社、日産建設株式会社、株式会社奥村組、株式会社大林組、戸田建設株式会社、飛島建設株式会社、株式会社竹中土木、東急建設株式会社、株式会社熊谷組、清水建設株式会社、三菱建設株式会社、鹿島建設株式会社の各社である旨の答弁がありました。

次に、造成工事はこれで終結するのかとたどしましたところ、全部今回をもって終了するとの答弁がありました。

以上のとおり、審査の経過及び結果について御報告申し上げましたが、満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げ、委員長報告といたします。

○議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

## 討 論

○議長（石井 正君） これより討論を行います。

通告がありますので発言を許します。

1番議員神田守隆君。御登壇願います。

（1番議員神田守隆君登壇）

○1番（神田守隆君） 議案の第27号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について反対の討論を行います。

国民健康保険税は17%余り引き上げようとする条例の一部改正でございますが、今回の値上げの国保税は例えば政府管掌健康保険に比べましても加入者の負担割合は約2倍近くにもなろうとしております。もはや国民健康保険税の負担はその限界をこえています。市民の暮らしを守る立場から国保税のこの大幅な値上げは認められません。

特に、今回のこの大幅値上げの要因は退職者医療制度の創設を理由に医療費の国庫負担率を45%から38.5%に切り下げたことにあります。厚生省は退職者医療制度によって国保の財政負担は軽くなるので国庫負担率を引き下げても国保税の大幅値上げにはつながらないと説明をしてまいりました。ところが、退職者医療制度の予定の人員は当初の見込みを大幅に下回りました。国はみずからの失政を地方に回すことは絶対に許されません。その責任をとるべきであり、当面国庫負担率の切り下げを中止するよう全国自治体と連帯して運動していくことを強く主張いたしまして、私の反対討論といたします。

○議長（石井 正君） 以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はありませんか。

（2番議員田沢勝信君登壇）

○2番（田沢勝信君） 議案第28号工事請負契約の締結について反対の討論をいたします。

先ほど市長さんからコミュニティセンター土地買収に係る問題につきまして釈明がございましたが、この横領事件につきましてはなぜ3年間も明らかにできなかったのか、あるいはまた問題を起こした職員への退職金の支払いは法的にいつて問題がないのかどうなのか、そのような究明がされておきませんので、この議案につきましては真相が究明された後、議決すべきだとそのように考えますので、現時点での議決については反対をいたします。

○議長（石井 正君） 他に討論ございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第27号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。



(賛成者起立)

○議長(石井 正君) 起立多数であります。よって、議案第27号は原案どおり可決されました。

次いで、議案第28号工事請負契約について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(石井 正君) 起立多数であります。よって、議案第28号は原案どおり可決されました。

次いで、議案第29号について採決いたします。

議案第29号についての委員長の報告は原案可決であります。

議案第29号を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、議案第29号は原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

○議長(石井 正君) 日程第2、議案第30号乃至議案第33号を一括して議題といたします。

#### 文教民生委員会委員長報告

○議長(石井 正君) ただいま議題となりました各議案は、ともに6月25日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長石井武敏君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長石井武敏君登壇)

○文教民生委員会委員長(石井武敏君) 御報告を申し上げます。

去る6月25日に文教民生委員会に付託をされました議案第30号乃至議案第33号につきましては、26日に文教民生委員会を開催し、慎重に審議いたしました。

審査の結果は、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、その経過につきましては、主な事項を御報告いたします。

まず、議案第30号につきましては、教職員の研修事業と職員数について尋ねましたところ、内容としては学習指導の助言と教育機器の研修等行い、職員数は県費が2名、市が2名の4名であるとの説明がありました。

また、社会教育の振興につきましては、視聴覚関係教材の作成、器材の貸し出しが主な事業であり、他の自治体との比較としては視聴覚センターライブラリーは県下で36、教育センターとしては7市町村が設置しており、本市においては両方の機能を持たせてあるとの説明がありました。

また、教育センターに改組することによりまして機能的な変化はないかと尋ねたところ、事業的にも予算的にも従前同様に考えている旨の答弁がありました。

続いて、議案の第31号につきましては、青年館は何館あり、その利用状況はどうか尋ねましたところ、現在41館設置されており、1館当たり平均年間利用は延べ137.5日、延べ利用人員は2506.7人であるとの説明がありました。

また、今後の青少年を育成する拠点としての青年館の運営に対する考え方につきまして説明を求めたところ、県の補助金交付規則に対する態度が確定していないのではっきりした段階で市としても対応を検討したい旨、答弁がありました。

続きまして、議案の第32号につきましては、と畜場が組合の運営に移行されるが今後の市とのかかわりあいについて考えをただしましたところ、館山市有の土地と建物については無償貸与する、高井の共有地については市が借り受けた後、転貸するとの答弁がありました。

さらに、施設が老朽化しているが、今後の改善についてどのように考えているか尋ねましたところ、県からの指摘事項として21項目があり、安房と畜場で逐次改修していくとの説明がありました。

なお、利用状況については、4月合計239頭、5月185頭であり、前年に比較して減少している旨、説明がありました。

以上、本委員会におきます審査の概要を御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

○議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第30号及び議案第31号について一括して採決いたします。

議案第30号及び議案第31号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、議案第30号及び議案第31号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

次いで、議案第32号館山市と畜場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について起立により採決いたします。

本案の採決は地方自治法第244条の2第2項及び議会の議決に付すべき公の施設の独占的利用等に関する条例第3条の規定により、出席議員の3分の2以上の同意を必要といたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（石井 正君） 出席議員数は27名であり、ただいまの起立者は全員であります。よって、議案第32号は原案どおり可決されました。

次いで、議案第33号館山市と畜場施設近代化基金の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、議案第33号は原案どおり可決されました。

暫時休憩いたします。

午後2時19分 休憩

午後5時13分 再開

○議長（石井 正君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

#### 会議時間の延長

○議長（石井 正君） 本日の会議時間はあらかじめこれを延長いたしましたと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

暫時休憩いたします。

午後5時13分 休憩

午後5時25分 再開

○議長（石井 正君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

副議長と交代いたします。

（議長石井 正君退場）

（副議長、議長席に着く）

#### 日程の追加

○副議長（渡辺昭夫君） 議長石井 正君から議長の辞職願が提出されております。

お諮りいたします。この際、議長辞職の件を日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、この際議長辞職の件を日程に追加し、議題とすることに決しました。

#### 議長辞職について

◎副議長（渡辺昭夫君） 議長辞職の件を議題といたします。

まず、辞職願を朗読いたさせます。

（書記朗読）

◎副議長（渡辺昭夫君） 朗読は終わりました。

お諮りいたします。石井 正君の議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

（「異議あり」と呼ぶ者あり）

◎副議長（渡辺昭夫君） 御異議の御発言がありましたので、起立により採決いたします。

石井 正君の議長の辞職を許可することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎副議長（渡辺昭夫君） 起立多数であります。よって、石井 正君の議長の辞職を許可することに決しました。

（石井 正君入場）

石井 正君のあいさつ

◎副議長（渡辺昭夫君） この際、石井 正君から発言を求められております。

暫時これを許します。

（26番議員石井 正君登壇）

◎26番（石井 正君） 一言ごあいさつ申し上げます。

議長就任中は、非常に皆さまに御協力いただきまして、また御指導いただきまして、本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

今後、地方自治発展のために頑張りたいと思いますので、今までと同じようにひとつ御指導、御鞭撻いただきますようお願いいたしまして、ごあいさつにかえたいと思います。どうもありがとうございました。（拍手）

日程の追加

◎副議長（渡辺昭夫君） ただいま議長が欠員となりました。

お諮りいたします。この際、議長の選挙を日程に追加し、選挙を行いたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○副議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

#### 議長の選挙

○副議長(渡辺昭夫君) これより議長の選挙を行います。

議場の閉鎖を命じます。

(議場閉鎖)

○副議長(渡辺昭夫君) ただいまの出席議員数は27人であります。

投票用紙を配付いたさせます。

(投票用紙配付)

○副議長(渡辺昭夫君) 投票用紙の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

(投票箱点検)

○副議長(渡辺昭夫君) 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票を願います。

点呼を命じます。

(書記氏名点呼、投票)

○副議長(渡辺昭夫君) 投票漏れはありませんか。——投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

(議場開鎖)

○副議長(渡辺昭夫君) これより開票を行います。

会議規則第31条第2項の規定により、立会人に石井 謀君及び石井武敏君を指名いたします。よって、両君の立ち会いを願います。

(立会人登壇、開票)

○副議長(渡辺昭夫君) 選挙の結果を報告いたします。

投票総数27票、これは先ほどの出席議員数に符合しております。

そのうち有効投票26票、無効投票1票。

有効投票中、流山源次郎君 25 票、神田守隆君 1 票、以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は 7 票であります。よって、流山源次郎君が議長に当選されました。

ただいま議長に当選されました流山源次郎君が議場におられますので、会議規則第 32 条第 2 項の規定による告知をいたします。

#### 議長のあいさつ

○副議長（渡辺昭夫君） この際、議長流山源次郎君を御紹介いたします。

（議長流山源次郎君登壇）

○議長（流山源次郎君） このたび、この議場におきまして、皆さん方の温かい御支援によりまして議長に推挙さしていただきまして、心から厚くお礼申し上げる次第でございます。

もとより浅学非才の身ではございますが、先輩が築き上げました伝統ある館山市議会を汚さぬよう全力投球をもって努力してまいりたいと思っております。

どうか今後ともよろしく御支援、御指導のほど切にお願いいたしまして、簡単でございますが、議長就任のあいさつにかえさせていただきます。ありがとうございます。（拍手）

○副議長（渡辺昭夫君） 以上で議長と交代いたします。

御協力ありがとうございました。（拍手）

（議長、議長席に着く）

○議長（流山源次郎君） 暫時休憩いたします

午後 5 時 43 分 休憩

午後 7 時 00 分 再開

○議長（流山源次郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（副議長渡辺昭夫君退場）

#### 日程の追加

○議長（流山源次郎君） 副議長渡辺昭夫君から副議長の辞職願が提出されております。

お諮りいたします。この際、副議長辞職の件を日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、この際、副議長辞職の件を日程に追加し、議題とすることに決しました。

#### 副議長辞職について

◎議長(流山源次郎君) 副議長辞職の件を議題といたします。

まず、辞職願を朗読いたさせます。

(書記朗読)

◎議長(流山源次郎君) 朗読は終わりました。

お諮りいたします。渡辺昭夫君の副議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、渡辺昭夫君の副議長の辞職を許可することに決しました。

(渡辺昭夫君入場)

#### 渡辺昭夫君のあいさつ

◎議長(流山源次郎君) この際、渡辺昭夫君から発言を求められております。暫時これを許します。

(15番議員渡辺昭夫君登壇)

◎15番(渡辺昭夫君) 一言お礼を申し上げたいと思います。

副議長2年間の在任中、大変議員各位の御指導と御協力を賜りましたことを厚くお礼を申し上げます。今後は皆さまともども市政進展のために引き続き努力をいたしてまいる所存でございます。

本当にありがとうございました。(拍手)

#### 日程の追加

◎議長(流山源次郎君) ただいま副議長が欠員となりました。

お諮りいたします。この際、副議長の選挙を日程に追加し、選挙を行い



たいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

#### 副議長の選挙

○議長(流山源次郎君) これより副議長の選挙を行います。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。副議長に伊藤幸太郎君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました伊藤幸太郎君を副議長の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり伊藤幸太郎君が副議長に当選されました。

ただいま当選されました伊藤幸太郎君が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

#### 副議長のあいさつ

○議長(流山源次郎君) この際、副議長伊藤幸太郎君を紹介いたします。

(副議長伊藤幸太郎君登壇)

○副議長(伊藤幸太郎君) 本日、図らずも不肖私、副議長に御推挙いた

だきましてまことにありがとうございます。

皆さまの今後の御協力によりまして、この要職を懸命に果たしてまいりたい、そういう気持ちでございますので、よろしく御指導のほどお願い申し上げます。ありがとうございます。（拍手）

#### 請願書の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第3、請願第5号「非核平和都市宣言」の決議を求める請願書を議題といたします。

#### 総務委員会委員長報告

○議長（流山源次郎君） ただいま議題となりました請願書は、6月25日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長横溝 功君。御登壇願います。

（総務委員会委員長横溝 功君登壇）

○総務委員会委員長（横溝 功君） 去る6月25日の本会議におきまして総務委員会に付託されました請願第5号「非核平和都市宣言」の決議を求める請願書につきましては、翌26日開催の総務委員会におきまして慎重なる審査を行いましたところ、不採択と決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 討 論

○議長（流山源次郎君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

1番議員神田守隆君。御登壇願います。

（1番議員神田守隆君登壇）

○1番（神田守隆君） 請願の第5号「非核平和都市宣言」の決議を求め

る請願書に賛成の討論をいたします。

現在、世界の核兵器は5万発といわれ、そのうちわずか1%が使われただけで地球を核の冬が覆い、人類は絶滅するといわれています。今こそ核廃絶の声を大きくしなければならぬときはないだろうと考えます。

平和の問題は国の専管事項であり自治体が口出しすべきではないという認識がありましたが、住民の命と暮らしを守ることは自治体の基本使命であります。人類の絶滅さえ現実の脅威となっている核軍拡競争のもとで、住民の命と暮らしを守るために自治体が核兵器の廃絶と恒久平和の確立に向けて発言し行動することは、至極当然のことだといわなければなりません。

昭和57年3月の本議会は核兵器完全禁止と軍縮に関する意見書を決議しております。その中ではわが国は唯一の核被爆国として、また憲法の内容からも非核三原則に基づいて核兵器廃絶と軍縮の推進に積極的な役割を果たすべきであると述べています。

今回、非核都市宣言を求める請願が本議会に提案されましたが、館山市の、当市の基本理念として非核、平和を内外に明らかにしていくことはこうしたこれまでの本市議会の経過からしても大変重要なことであろうと考えるわけであります。

こうした点から、この請願を採択すべきものと考え、この請願の賛成討論といたします。

○議長（流山源次郎君） 以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

請願第5号についての委員長の報告は不採択であります。

本請願書を委員長の報告とおり不採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（流山源次郎君） 起立多数であります。よって、請願第5号は不採択と決しました。

#### 請願書の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第4、請願第2号農産物の輸入自由化・枠拡大に反対し、国民食糧の安定確保を求める請願書を議題といたします。

#### 建設経済委員会委員長報告

○議長（流山源次郎君） ただいま議題となりました請願書は、去る3月開会の第1回市議会定例会において建設経済委員会に付託され、継続審査に付されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長石井 謀君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長石井 謀君登壇）

○建設経済委員会委員長（石井 謀君） 請願書の審査の結果について御報告を申し上げます。

去る3月第1回定例会において本委員会に付託され、継続審査中の請願第2号農産物の輸入自由化・枠拡大に反対し、国民食糧の安定確保を求める請願書につきましては、去る6月25日招集の委員会において審査いたしました結果、賛成者がなく不採択とすべきものと決しました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

請願第2号についての委員長の報告は不採択であります。

本請願書を委員長の報告どおり不採択と決めますことに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(流山源次郎君) 起立多数であります。よって、請願第2号は不採択と決しました。

#### 継続審査について

○議長(流山源次郎君) この際、申し上げます。

去る6月25日の本会議において総務委員会に付託されました請願第4号快速列車の実現を求める請願書について、委員長から会議規則第75条の規定により閉会中の継続審査とされたい旨の申し出がありました。

お諮りいたします。請願第4号を委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査といたしますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、請願第4号は閉会中の継続審査とすることに決定いたしました。

#### 日程の追加

○議長(流山源次郎君) お諮りいたします。

安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員1名、千葉県競輪組合議会議員2名、安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員6名、館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員8名、三芳水道企業団議会議員8名がそれぞれ本日都合により辞職されました。

よって、それぞれ組合同規約の定めるところにより、これが補欠選挙を本日の日程に追加し、直ちに選挙を行いたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、それぞれ各組合議会議員の補欠選挙を日程に追加し、選挙を行うことに決しました。

## 安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員の補欠選挙

○議長（流山源次郎君） 安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は1名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員に石井 正君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました石井 正君を安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり石井 正君が安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました石井 正君が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

## 千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙

○議長（流山源次郎君） 千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は2名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。千葉県競輪組合議会議員に石井 正君、安澤徳順君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました両議員君を千葉県競輪組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり石井 正君、安澤徳順君が千葉県競輪組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました石井 正君、安澤徳順君が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

#### 安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙

○議長(流山源次郎君) 次に、安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は6名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員に伊藤幸太郎君、黒川平治君、林 豊君、伊賀多朗君、流山源次郎、安澤徳順君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました6議員君を安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり伊藤幸太郎君、黒川平治君、林 豊君、伊賀多朗君、流山源次郎、安澤徳順君が安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました伊藤幸太郎君、黒川平治君、林 豊君、伊賀多朗君、流山源次郎、安澤徳順君が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の補欠選挙

○議長（流山源次郎君） 次に、館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は8名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会



議員に神田守隆君、日下君敏君、榎本春光君、小宮利夫君、石井 謀君、渡辺昭夫君、松下正己君、石井武敏君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました8議員君を館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり神田守隆君、日下君敏君、榎本春光君、小宮利夫君、石井 謀君、渡辺昭夫君、松下正己君、石井武敏君が館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました神田守隆君、日下君敏君、榎本春光君、小宮利夫君、石井 謀君、渡辺昭夫君、松下正己君、石井武敏君が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

#### 三芳水道企業団議会議員の補欠選挙

○議長(流山源次郎君) 次に、三芳水道企業団議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は8名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。三芳水道企業団議会議員に田沢勝信君、山中金治郎君、川名正二君、生稻 陸君、飯田義男君、石井昌治君、近藤好雄

君、安西益男君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました8議員君を三芳水道企業団議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり田沢勝信君、山中金治郎君、川名正二君、生稲 陸君、飯田義男君、石井昌治君、近藤好雄君、安西益男君が三芳水道企業団議会議員に当選されました。

ただいま当選されました田沢勝信君、山中金治郎君、川名正二君、生稲陸君、飯田義男君、石井昌治君、近藤好雄君、安西益男君が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

#### 日程の追加

○議長(流山源次郎君) お諮りいたします。

本市議会の申し合わせにより、常任委員会委員の改選をいたしたいと思ひます。これを本日の日程に追加し、直ちに議題といたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、常任委員会委員の改選を本日の日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

#### 常任委員会委員の選任

○議長(流山源次郎君) お諮りいたします。

ただいまの決定により、現在の各常任委員会委員は全員それぞれ辞職し、全委員会ともに欠員となったことといたしますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

お諮りいたします。ただいま決定されましたとおり、各常任委員会ともに欠員となりましたので、本日直ちにこれが選任を行いたいと思ひます。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、本日直ちに選任することに決しました。

これより各常任委員会委員を本市議会委員会条例第4条の規定により選任いたします。

各常任委員会委員の氏名を書記をして朗読いたさせます。

○書記(兵藤恭一君) 朗読いたします。

総務委員会委員 田沢勝信さん、山中金治郎さん、川名正二さん、小宮利夫さん、横溝 功さん、伊藤幸太郎さん、近藤好雄さん、石井武敏さん、吉田勇治郎さん。

文教民生委員会委員 神田守隆さん、生稻 隆さん、榎本春光さん、飯田義男さん、松下正己さん、黒川平治さん、伊賀多朗さん、流山源次郎さん、五十嵐 昇さん。

建設経済委員会委員 日下君敏さん、福原 勤さん、石井 謀さん、石井昌治さん、渡辺昭夫さん、林 豊さん、石井 正さん、安西益男さん、安澤徳順さん。

○議長(流山源次郎君) ただいま朗読いたしましたとおり各常任委員会委員に選任いたします。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

この際、同条例第5条の規定により各常任委員会において互選されました正、副委員長を報告いたします。

総務委員会委員長 山中金治郎君、同副委員長 小宮 利夫君、  
文教民生委員会委員長 松下 正己君、同副委員長 榎本 春光君、  
建設経済委員会委員長 日下 君敏君、同副委員長 安澤 徳順君。

なお、この際御報告申し上げます。

議会運営協議会委員に神田守隆君、田沢勝信君、日下君敏君、小宮利夫君、横溝 功君、石井 謀君、近藤好雄君、安西益男君、以上8議員君が選任され、互選の結果、委員長に横溝 功君、副委員長に石井 謀君が決

定されましたので報告いたします。

#### 日程の追加

○議長（流山源次郎君） ただいま市長から議案第34号館山市監査委員の選任についてが提出されました。

この際、これを日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、この際、議案第34号館山市監査委員の選任についてを日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

#### 議案の配付

○議長（流山源次郎君） 議案を配付いたします。

（議案配付）

○議長（流山源次郎君） 議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

#### 議案の上程

○議長（流山源次郎君） 議案第34号館山市監査委員の選任についてを議題といたします。

本案は、地方自治法第117条の規定により飯田義男君の一身上の事件でありますので、退席を求めます。

（11番議員飯田義男君退場）

○議長（流山源次郎君） 議案の朗読を願います。

（書記朗読）

○議長（流山源次郎君） 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

○議長（流山源次郎君） 議案の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 議案第34号館山市監査委員の選任について提案理由の御説明を申し上げます。

本市の監査委員中、議員の中から選任をいたします委員が欠員となりましたので、飯田義男議員が学識経験とも豊かでございますし、計数に明るい方でございますので、適任と考え選任いたしたいと存じます。

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（流山源次郎君） 説明は終わりました。

これより質疑を行います。御質疑はありますか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 委員会付託の省略

◎議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

本案については委員会付託並びに討論省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

#### 採 決

◎議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

館山市監査委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、館山市監査委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

（11番議員飯田義男君入場）

#### 閉 会 午後7時33分

◎議長（流山源次郎君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第2回市議会定例会を閉会いたします。

○本日の会議に付した事件

- 1 動議
- 1 議案第 27 号乃至議案第 33 号
- 1 請願第 5 号、請願第 2 号
- 1 継続審査について（請願第 4 号）
- 1 会議時間の延長
- 1 日程の追加・議長辞職について
- 1 日程の追加・議長の選挙
- 1 日程の追加・副議長辞職について
- 1 日程の追加・副議長の選挙
- 1 日程の追加・安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・三芳水道企業団議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・常任委員会委員の選任
- 1 日程の追加・議案第 34 号

地方自治法第 123 条第 2 項の規定により署名する。

館山市議会議長 石 井 正

館山市議会議長 流 山 源 次 郎

館山市議会副議長 渡 辺 昭 夫

館山市議会議員 石 井 昌 治

館山市議会議員 伊 藤 幸 太 郎

